

平成30年度決算に係る
定期監査調書

令和元年7月

西部家畜保健衛生所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱額調べ	6頁
8	収入事務処理状況調べ	6頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	9頁
10	未収金回収促進のための取組状況調べ	9頁
11	不納欠損額調べ	9頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11頁
14	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付け及び使用許可調べ	15頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	17頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	17頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	寄附物件の受納状況調べ	18頁
19	備品の処分状況調べ	19頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
21	事業別予算執行状況調べ	20頁
22	家畜保健衛生事業	20頁
	(1) 管内家畜類の飼養状況調べ	
	(2) 各事業別の実施状況調べ	
○	意見、要望等	22頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当無し

(2) 監査意見
該当無し

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当無し

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
西部家畜保健衛生所	衛生指導担当	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜保健衛生所法（昭和25年法律第12号）第3条の規定による家畜の伝染病の予防、家畜の試験、検査等に関すること。 ・獣医事に関すること。 ・動物薬事に関すること。
	防疫担当	

4 職員の定員、現員調べ

（平成31年4月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	30.4.1 現 在	当 該 年 度	30.4.1 現 在	当 該 年 度	30.4.1 現 在	当 該 年 度	30.4.1 現 在	
定 員	0	0	10	10	0	0	10	10	
現 員	() 0	() 0	() 10	() 10	() 0	() 0	() 10	() 10	
過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨 時 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非 常 勤 職 員	1	1	0	0	0	0	1	1	事務職 1

5 役付職員の調べ

（令和元年7月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
所 長	山崎 浩一	2	3	
次長兼課長補佐	森本 一隆	2	3	通算3年3月 出納員
課 長 補 佐	澤 英夫	1	3	
課 長 補 佐	福間 規夫	0	3	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
家畜衛生総合対策事業	5,569	2,785	0	2,784
家畜衛生対策事業				
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略	「食のみやこ鳥取県」を支える畜産物のブランド化、安定供給の推進 安心・安全な畜産物の生産に必要な衛生管理体制を整備する			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

サルモネラ症などの人獣共通伝染病の浸潤状況調査や動物用医薬品の適正使用の指導、飼料の実態調査・検査等を実施し、安全安心な畜産物の生産を指導するとともに、家畜の疾病の発生、まん延防止を図り、畜産農家の生産性の向上と経営安定を推進する。

(イ) 事業の実施状況

細事業名	項目・内容	実施状況
家畜衛生関連情報整備対策	情報の収集	臨床獣医師との情報交換(毎月実施)
動物用医薬品危機管理	医薬品の検査	2品目(無機質製剤、ビタミン製剤)
	医薬品販売業者等への立入検査	58店舗
地域衛生管理対策	乳房炎	搾乳後集められた乳(バルク乳)検査延べ102戸(全戸×2回)、多発農場の検査指導
	幼畜疾病対策	下痢症及び肺炎対策指導(牛5戸、豚5戸)
	牛白血病清浄化対策	繁殖和牛農場3戸をモデル農場として重点調査・指導

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

畜産現場の現状や要望を勘案し、以下の地域衛生対策事業で重点的に取り組んだ。

項目・内容	取り組み
乳房炎	・バルク乳検査での黄色ブドウ球菌(SA)陽性率のモニタリングおよび搾乳衛生指導を重点的に取組んだ。
幼畜疾病対策	・哺育育成農場：定期的に巡回し、導入牛の糞便検査を行い、カモシ症の侵入・まん延防止を行った。また、飼育環境改善のためハエ対策指導を重点的に取組んだ。 ・中小規模養豚農場：定期的に巡回し、衛生指導及び繁殖向上に対する指導。
牛白血病清浄化対策	・抗体陽性率低減に向けて、定期的に追跡調査を実施し、抗体陰性牛と陽性牛を分けて飼育する等の水平感染予防の重要性を具体的な資料を提示し、感染予防対策につなげる取組を行った。

ウ 成果及び効果
地域衛生対策事業

項目・内容	取り組み	成果
乳房炎	バルク乳検査での黄色ブドウ球菌(SA)陽性率モニタリング	SA陽性農家率(H29:34.6%→H30:25.5%)割合の減少。
幼獣疾病対策	衛生的な飼養管理と適切なワクチン接種による免疫付与。	子牛の肺炎死廃率(H29:2.39%→H30:0.9%)が減少し、発育改善効果(一日当たりの増体量(DG)H29:1.07→H30:1.09)が認められ、幼獣の損耗防止を達成。
牛白血病清浄化対策	各農場の追跡検査と巡回指導を継続。	分離飼育を行った農場で陽性率(A農場 H29:45.3%→H30:25.5% 37%、B農場H29:53.3%→H30:37.8%)が低減。

エ 課題
地域衛生対策事業

項目・内容	課題
乳房炎	農場によってはSA陽性牛の摘発や清浄化が困難な場合もある。しかしながら、引き続き生産団体等と協力し、早期発見に努め、清浄化を推進していくと共に搾乳衛生指導等意識啓発を積極的進めること。
幼獣疾病対策	巡回困難農場では、聞き取り徹底や情報共有が不十分になる傾向がある。より緊密に連絡を取合い、適切な情報提供により農場側の衛生意識向上が必要。また、研修会や検討会の継続的開催により、飼養管理や疾病に関する知識向上を図り農場側の衛生意識向上に繋げること。
牛白血病清浄化	重点対策指導対象の肉用牛飼養3農場のうち、1農場は高陽性率のまま(75%程度)であり、具体的低減対策への取組が不十分である。2019年度は吸血昆虫による水平伝播を防ぐ取組を実施し、この取組をモデルとした他の高陽性率農場における感染拡大防止対策の普及。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
家畜衛生総合対策事業	5,569	国庫支出金 2,785	その他 0	一般財源 2,784
家畜伝染病予防事業				
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略	「食のみやこ鳥取県」を支える畜産物のブランド化、安定供給の推進 安心・安全な畜産物の生産に必要な衛生管理体制を整備する			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査及び発生時のまん延防止措置を行う。

(イ) 事業の実施状況

① 監視伝染病の摘発状況

分類	発生疾病名	畜種	頭羽数
家畜伝染病	発生なし		
届出伝染病	牛白血病	牛	15頭
	豚丹毒	豚	14頭
	アカリダニ症	蜜蜂	3戸

② 家畜伝染病予防法第5条による告示検査実施状況

③ 発生に備えた予防措置

畜種	事業名	頭羽数
牛	ブルセラ病	0頭
	結核病	134頭
	ヨーネ病	1,970頭
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	492検体
鶏	ひな白痢	2,690羽
	マイコプラズマ病	2,690羽
	ニューカッスル病	2,690羽
	高病原性鳥インフルエンザ	517羽
蜜蜂	腐蛆病	184群

・高病原性鳥インフルエンザの発生に備え日野地区における発生農場を模擬設定した防疫基地設営、防疫服の着脱及び物品調達方法等の防疫演習(11月)を実施、また各消毒ポイントを巡回して適正性の確認(12、1、2月)を実施。

・口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザの近県での発生を想定し、隣接県と防疫体制を協議。(8月)。

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

ウ 成果及び効果

項目	取り組み内容
各農場対応	①消毒・ワクチン接種等の伝染病予防対策や各疾病の発生状況等を衛生情報として発行した。 ②飼養衛生管理基準の遵守に関する指導を適宜実施した。
口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ・豚コレラ対策	①関係部局や市町村と協議し、初動防疫計画や運営マニュアル改定に取り組んだ。 ②豚コレラの他県での発生に伴い、捕獲いのししの検査並びに発生状況を農場に伝えるとともに衛生監視に努めた。
牛白血病対策	①告示検査(ヨーネ病)実施農場(乳用牛、肉用牛共に)を対象として余剰血清を用いた抗体検査を実施し、管内(平成30年度実施農家)の浸潤状況を調査した。農場には結果の回答とともに、感染拡大防止対策の情報を提供した。 ②各農場の飼養環境、放牧、対策等の条件と陽性率との関係を比較調査した。

項目	成果・効果
各事業	消毒、ワクチン接種の取り組み及び衛生管理指導により伝染病の発生を予防できた。
口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ・豚コレラ対策	定期的な巡回指導を行い、また、消毒・衛生管理を随時指導し、情報提供を行って管内での発生を防いだ。
牛白血病対策	① 調査農場全戸に結果と感染拡大防止対策の情報を提供することにより、対策に取り組もうとする農場数が増加した。 ② 繋ぎ牛舎より群飼牛舎、非放牧農場より放牧実施農場、感染拡大防止対策実施農場より対策未実施農場において、農場内陽性率高いことが判明した。

エ 課題

項目	課題
各農場対応	飼養衛生管理基準の遵守ができていない農場に対する立ち入り指導を行う。
口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ・豚コレラ対策	発生を想定した危機管理体制について、関係部局や市町村と連携を強め、動員者・物品調達・防疫作業分担等の運営マニュアルを改訂するために、さらに関係部局との協議が必要。 豚コレラの西部地区マニュアルを作成する。
牛白血病対策	各調査対象農場に示した結果(農場内陽性率の推移、個体別の陽性・陰性別及び陽転状況)を基にして、各農場ごとに区分飼育やサンバエによる水平伝播防止等の具体的な感染拡大防止対策につなげる必要がある。

7 収入証紙取扱額調べ

(令和 元年5月31日)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	5	11,000	55,000	許可更新
		動物用医薬品販売業許可等手数料	1	2,000	2,000	許可証書き換え
	計(節)		6		57,000	
目計			6		57,000	
合計			6		57,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当無し

(2) 使用料

(令和 元年5月31日)

(単位:円)

			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
	行政財産 使用料		2	15,420	15,420	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	(公社)鳥取県畜産推進機構、中国電力(株)米子営業所
	計(節)		2	15,420	15,420	0	0		
			2	15,420	15,420	0	0		
			2	15,420	15,420	0	0		

(3) 手数料

(令和 元年 5 月 3 1 日現在)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
農 林 産 業 手 数 料	畜 業 手 数 料	家畜防疫手数料	452件	1,763,340	1,763,340	0	0	家畜伝染病予防法 鳥取県手数料徴収 条例	
		結核病	(61頭)	14,640	14,640	0	0		@ 240
		ヨーネ病 (ELISA)	(1,819頭)	1,236,920	1,236,920	0	0		@ 680
		家きんカビ科感染症 (ひな白痢)	(2,750羽)	118,250	118,250	0	0		@ 43
		マイコプラズマ病	(2,750羽)	118,250	118,250	0	0		@ 43
		腐蛆病	(184群)	11,040	11,040	0	0		@ 60
		牛ウイルス性下痢・粘膜病 (ELISA)	(388頭)	263,840	263,840	0	0		@ 680
		腐蛆病証明	(1件)	400	400	0	0		@ 400
		家畜保健衛生所手数料	35件	290,960	290,960	0	0	鳥取県家畜保健衛 生所の名称、位置 及び管轄区域等を 定める条例	
		ブルセラ病	(6頭)	5,700	5,700				@950
		結核病	(5頭)	3,400	3,400				@680
		牛ウイルス性下痢・粘膜病 (ELISA)	(96頭)	232,320	232,320	0	0		@2,420
		牛白血病 (PCR)	(3件)	7,260	7,260	0	0		@2,420
		馬伝染性貧血	(14頭)	33,880	33,880				@2,420
		証明 (家保手数料)	(20件)	8,400	8,400	0	0		@420
合 計		487件	2,054,300	2,054,300	0	0			

(4) 財産収入

(令和 元年5月31日)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入		1	777	777	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則	水道供給施設用地 (土地・伯耆町)
物品売払収入	物品売払収入		1	190	190	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則	不要備品売払 (除菌ロッカー)
目計			1	967	967	0	0		
合計			1	967	967	0	0		

(5) 諸収入

(令和 元年5月31日)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入		2	19,119	19,119	0	0	公有財産事 務取扱要領	(公社)鳥取県 畜産推進機構
目計			2	19,119	19,119	0	0		
合計			2	19,119	19,119	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(令和 元年5月31日)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
畜産業手数料	1,675,580	121	家畜防疫手数料 1,405,920円 家畜保健衛生所手数料 269,660円
合計	1,675,580	121	

イ つり銭の状況
該当無し

9 収入未済額調べ

(令和 元年 5月31日現在)

(単位：円)

収入科目 区分			過 年 度 分							現 年 度 分			収入未済額計 A + B	未 収 理 由
			前年度 以前か らの繰 越額	左のう ちの収 入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額 A	収 入 未 済 額 の 調 定 年 度 内 訳			調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額 B		
26年度 以 前	27年度	28年度												
目	節	細 節												
農 林 水 産 業 手 数 料	畜 産 業 手 数 料	家畜防 疫手数 料	0	0	0	0	0	0	0	1,763,340	1,763,340	0	0	
		家畜保 健衛生 所手数 料	0	0	0	0	0	0	0	290,960	290,960	0	0	
	計 (節)			0	0	0	0	0	0	2,054,300	2,054,300	0	0	
目 計			0	0	0	0	0	0	0	2,054,300	2,054,300	0	0	
合 計			0	0	0	0	0	0	0	2,054,300	2,054,300	0	0	

10 未収金回収促進のための取組状況調べ
該当無し

11 不納欠損額調べ
該当無し

1.2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
 (1) 負担金

(平成 31年 3月 31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
								文書ID
新規以外のもの						13,000		
目計						13,000		
合計						13,000		

(2) 補助金
 該当無し

(3) 交付金
 該当無し

(4) 委託料

(平成31年 3月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日 履 行 検 査 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	契約年月日 契約額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			契約形態					
				契約年月日 契約額	契 約 期 間							
上記の外、契約 額が250万円未満 のもの											909,028	
目 計											909,028	
合 計											909,028	

13 工事請負費調べ
該当無し

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成31年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	西部家畜保健衛生所	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-16	727.00	0	増加	H				H	727.00	0	溝口町(現伯耆町)から無償譲渡
					減少	H				H			
	"	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	2,440.42	14,026,275	増加	H				H	2,440.42	14,026,275	
					減少	H							
	"	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-18	0.16	920	増加	H				H	0.16	920	井戸用地の内、県持分19.1%
					減少	H							
計			3,167.58	14,027,195						3,167.58	14,027,195		
普通財産	西部家畜保健衛生所(貸付)	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17の一部	10.58	60,808	増加	H				H	10.58	60,808	水道供給施設用地貸付(伯耆町)
					減少	H				H			
計			10.58	60,808						10.58	60,808		
合計			3,178.16	14,088,003						3,178.16	14,088,003		

イ 建 物

(平成31年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	西部家畜保健衛生所庁舎	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-1 6.17	640.10	262,045,058	増加	H				H	640.10	262,045,058	
					減少	H				H			
	解剖棟	〃	96.00		増加	H				H	96.00		
					減少	H				H			
	倉庫	〃	34.00		増加	H				H	34.00		
					減少	H				H			
	車庫	〃	90.00		増加	H				H	90.00		
					減少	H				H			
計			860.10	262,045,058						860.10	262,045,058		
普通財産	該当なし			増加	H				H				
				減少	H				H				
合計			860.10	262,045,058						860.10	262,045,058		

ウ 山林
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成31年 3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受 入 額	払 出 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 40,089	円 62,200	円 55,117	円 47,172	
収入印紙					
収入証紙		4,500	4,500	0	安全運転 管理者等 法定講習
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	40,089	66,700	59,617	47,172	

イ タクシーチケットの受払状況
該当無し

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成31年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給配電線支持物設置	西伯郡伯耆町金屋谷1540-16~17	電柱1本 (共架柱) 支線3条 支線柱3本	H28.2.25	H12.8.3	H28.4.1~ R3.3.31	丹繰・年額 10,500	10,500	米子市加茂町2丁目51番地 中国電力株式会社米子営業所 所長	
	水道供給用 水道管敷設 配電装置設置	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	7.075㎡ 電柱1本 支線1本	H27.3.2	H17.3.24	H27.4.1~ R2.3.31	丹繰・年額 0	0	西伯郡伯耆町吉長37番地 3 伯耆町長	減免 文書ID 14-0016 0885
計								10,500		
普通財産	水道供給施設用地	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17の一部	10.58㎡	H27.3.2	H17.4.14	H27.4.1~ R2.3.31	丹繰・年額 777	777	西伯郡伯耆町吉長37番地 3 伯耆町長	
計								777		
合計								11,277		

イ 建 物

(平成31年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	薬品冷蔵庫設置場所	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	1.0 m ²	H30.2.7	H22.2.25	H30.4.1~ H31.3.31	月額・年額 4,920	4,920	鳥取市末広温泉町723番地(公社)鳥取県畜産推進機構会長	文書ID 17-0025 1796
計								4,920		
普通財産	該当なし						月額・年額	0		
計								0		
合計								4,920		

(2) 物 品
該当無し

16 借受不動産明細調べ
該当無し

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
(1) 職員住宅
該当無し

(2) 職員駐車場
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	12.5	0
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	人	うち減免	人	人				
4月	11 人	人	人	人	人	11 人	11 人	0 円	公共交通機関がない 減免率 100%	/	/
5月	11					11	11	0			
6月	11					11	11	0			
7月	11					11	11	0			
8月	11					11	11	0			
9月	11					11	11	0			
10月	11					11	11	0			
11月	11					11	11	0			
12月	11					11	11	0			
1月	11					11	11	0			
2月	11					11	11	0			
3月	11					11	11	0			
合計								0			

18 寄附物件の受納状況調べ

該当無し

19 備品の処分状況調べ

(平成31年 3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処 分			備 考	
							売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日		売 払 額 ・ 処 分 費 用
衣類乾燥機	1	H13.5.11	15	56,563	H31.1.16	使用不能	棄却	使用不能	H31.1.17		
動力噴霧器	15	H6.7.8	8	263,000	H30.12.27	使用不能	棄却	使用不能	H31.1.30		
除菌ロッカー	8	H11.3.26	8	825,300	H31.1.4		売払	購入後20年が経過。使用が見込めない	H31.1.30	190	
合 計										190	

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
30年 7月12日 ～ 30年 7月31日	・有 ・無		

21 事業別予算執行状況調べ

(平成31年 3月31日現在)

目 名	家畜保健衛生費
事業名	事業の概要(目的、実績等)
家畜衛生対策事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」
家畜伝染病予防事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」
家畜保健衛生所管理運営事業	(事業概要) 家畜保健衛生所の円滑な運営を図った。

2.2 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成30年2月1日		前年同期		備考(増減)	
乳用牛	53戸	3,800頭	56戸	3,289頭	△3戸	511頭
肉用牛	133戸	2,949頭	142戸	2,941頭	△9戸	8頭
豚	7戸	47,752頭	8戸	50,139頭	△1戸	△2,387頭
採卵鶏	12戸	164,807羽	12戸	183,791羽	0戸	△18,984羽
ブロイラー	30戸	1,443,502羽	31戸	1,482,751羽	△1戸	△39,249羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成31年3月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜保健衛生所運営事業	種畜検査	検査	5月～10月	管内一円	—	豚 28頭 牛 0頭	
	病性鑑定	検査	4月～3月	〃	—	1,402頭・羽	乳用牛916頭, 肉用牛194頭, 豚15頭, 馬3頭, 鶏208羽, ハチ43羽, その他23頭
家畜衛生対策事業	家畜衛生関連情報整備対策		4月～3月	〃	12回	12回	
	動物用医薬品危機管理対策	収去検査	7月		2品目	2品目	
		立入検査	4月～3月		全店 63店舗	全店 58店舗	
	乳房炎対策	検査指導	4月～3月	〃	56検体 ×2回	102検体 (51×2回)	黄色ブドウ球菌 大腸菌
	幼畜疾病対策	検査指導	4月～3月	〃	牛 5戸 豚 5戸	牛 5戸 豚 5戸	子牛、子豚の下痢症及び肺炎の低減
	白血病清浄化対策	検査指導	4月～3月	〃	牛 1戸～	牛 3戸	和牛生産農場

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病 予防事業	ブルセラ病	検査	4月～3月	管内一円	90頭	50頭	告示検査0頭
	結核病	"	"	"	140頭	180頭	告示検査60頭
	ヨネ病	"	"	"	2,265頭	2,196頭	告示検査1,919頭
	ヨネ病（清浄性）	"	"	"	50頭	0頭	
	牛伝染性疾病	"	"	"	6,500頭	6,457頭	
	豚伝染性疾病	"	"	"	50,100頭	125,718頭	
	鶏伝染性疾病	"	"	"	164,600羽	169,200羽	
	馬伝染性疾病	"	"	"	215頭	365頭	
	羊伝染性疾病	"	"	"	161頭	135頭	
	ひな白痢	"	"	"	3,500羽	2,940羽	告示検査2,940羽
	マイコプラズマ病	"	"	"	3,500羽	2,940羽	告示検査2,940羽
	ニューカッスル病（種鶏）	"	"	"	3,500羽	2,940羽	告示検査2,940羽
	ニューカッスル病（その他）	"	"	"	1,590羽	1,500羽	
	腐蛆病	"	"	"	160群	184群	告示検査184群
	牛流行熱・バクテミア ネ病等	"	6月～11月	"	88頭	77頭	
	オースキ病	"	4月～3月	"	532頭	417頭	
	豚繁殖・呼吸器障害 症候群	"	"	"	88頭	240頭	
	豚コレラ	"	"	"	110頭	222頭	
	高病原性鳥インフルエンザ	"	"	"	550羽	547羽	告示検査547羽
	牛白血病	"	"	"	1,000頭	2,124頭	
牛パルジ症	"	"	"	100頭	222頭		
豚パルジ症	"	"	"	100頭	780頭		

鶏伝染性気管支炎	〃	〃	〃	270羽	290羽	
鶏伝染性ファブリカス嚢病	〃	〃	〃	270羽	290羽	
鶏カモバク症	〃	〃	〃	41戸	61戸	
牛ウイルス性下痢・粘膜炎	〃	〃	〃	575検体	840検体	告示検査492検体

※告示検査（家畜伝染病予防法第5条）以外は同法第51条による立入検査及び病性鑑定等。

○ 意見、要望等

（1）業務に関する意見・要望等

2）監査委員事務局に対する要望等